

# わかる返還手法



報道を見る佐喜真淳氏(中央)と歓声を上げる支持者ら  
=24日午後9時5分、宜野湾市野黨の選挙事務所

## 佐喜真氏一問一答

佐喜真淳氏と記者団との一問一答は次の通り。  
勝因は何か。  
「多くの選対スタッフや議員 前に進めたい」  
「現実的な対応に評価」  
「普天間飛行場の返還問題に ついての民意をどう解釈しているか。」  
「一番の犠牲者は宜野湾市民 ないか」とも形として表

# 「移設先」避け大勝 国、辺野古争点外す

解説

現職の佐喜 軍普天間飛行場返還・移設 問題については「固定化阻 止」を強調し、移設先への 言及を一貫して避けた。名 護市辺野古への移設をめく り県と政府が法廷闘争に突 入する中、推薦した政府与

### 4年間実績が浸透 施策差別化図れず 勝因・敗因

も、県外移設を 者の支持を取り

党は「辺野古移設の争点 外しに腐心した。  
佐喜真氏は前回の12年市 長選時、県外移設を掲げ、 初当選を果たしたが今市長 選では「返還の手法として の移設については政府が取 り組むべきもの」と主張し 「移設問題ではなく返還問 題だ」(陣営関係者)と訴 えてきた。本紙などの世論 調査では県内移設によらな い解決策を求める有権者が 7割以上を占め、佐喜真氏 を推した自公支持層も4割 以上が県内移設によらない 解決策を求めている。  
1996年4月の返還合 意からこととして20年の節目 を迎え、早期返還を求める 市民の声は根強い。だが県 と政府が辺野古移設をめく り、対立を続ける状況で早 期返還を実現するのは容易 ではない。早期返還と固定 化阻止をどのように実現す

### 投票

任期満了に伴 長選挙の投票率 で、前回2011 82%上回った 宜野湾市長選で かった。米軍普 天間の返還・移設問 争点となり、全 を集めたことも

## 佐喜真氏再選

# 新基地容認ではない

## 国に「5年以内」閉鎖責任

で決めることだ。一地域の選挙で 決定するものではない」と述べ た。民意をないがしろにする許さ れない発言だが、翁長県政与党が 支援した志村恵一郎氏が落選した ことを促して、辺野古移設が支持 されたとする可能性がある。曲解 されたのではないことは明らかだ。 佐喜真氏は「普天間飛行場の固 定化は許さない」と訴えて当選し た。選挙結果が示すことは、普天 間飛行場によって市民が危険にさ げられている状況を、1996年 以来の返還合意後20年も放置する 国に「5年以内」閉鎖責任を求め る」と訴えた。安倍政権が今 対する市民の強い怒りである。 佐喜真氏には5年以内運用停止 責任がある。だが、た 実現 ならしにされる可能性は否定で る。 中台元・防衛相は昨年、5年以 内運用停止の定義を 「飛行機が飛ばない こと」と明言した。 菅義偉官房長官が① 空中給油機能②緊急 時着陸機能③オスブ レイの運用機能の 3要件停止との見 解を示すと、防衛相は「幻想を与 えるようなことは言うべきでな ない」と前言を撤回した。 市民が求める運用停止は、飛行 機などが飛ばないことである。 佐 喜真氏も「1日も早い閉鎖、返還 責任を求め」と訴えた。安倍政権が 今 宜野湾市長選を前に琉球新報社 定化は許さない」と訴えて当選し た。選挙結果が示すことは、普天 間飛行場によって市民が危険にさ げられている状況を、1996年 以来の返還合意後20年も放置する 国に「5年以内」閉鎖責任を求め る」と訴えた。安倍政権が今

## 社説

「2期目の抱負は何か。  
「1期目にも残り残したことを着実に 今回公約に掲げたことを着実に 前に進めたい」  
「現実的な対応に評価」  
「普天間飛行場の返還問題に ついての民意をどう解釈しているか。」  
「一番の犠牲者は宜野湾市民 ないか」とも形として表

だ。街のど真ん中にあること自 体が返還合意の原点だ。返還合 意から20年たち市民がこれ以上 我慢できないということが民 意として表れた。固定化は言語 道断だという宜野湾市民の心の 底からの叫びが表れたと思う。  
安倍首相にはどんな話をす るか。  
「固定化は避けなければなら ない」とも形として表